

## 平成25年度第4回精神障害者地域移行推進部会議事概要

平成26年2月14日（金）

13時半～15時

教育会館2階202会議室

出席者：富沢部会長、寺田副部会長、池澤委員、奥山委員、木村委員、  
國分委員、飛田野委員、三好委員

### 開会

（蘆谷室長）

- ・配布資料確認

（富沢部会長）

- ・今年度最後の部会。よろしくお願ひします。

### 議題（1）地域移行・定着協力病院としてのインセンティブについて

- 事務局より資料1について説明。
- 委員より資料1のとおり配布することで承認いただいた。
- スケジュールとしては、2月中に病院に配布。3月中に取りまとめを行い次年度にホームページに載せる予定であると伝えた。

### 議題（2）遠隔地からの退院支援について

- 事務局より資料2を中心に説明。
- 委員より資料2のとおり実施することで承認いただいた。
- 精神科病院協会千葉県支部には実施についてと、病院長指定医会議で簡単な説明を行うことを伝えてある旨を報告。
- 委員からは、課題について形になりよかったと話があった。

### 議題（3）その他について

- 来年度の委員について、まだ決定していない旨を事務局より説明。
- そのため、深い話はできなかったが、下記のとおり来年度話し合うべき議題が委員より挙げられた。次回までに下記意見について、どの部会で話すものなのか等事務局が整理することになった。
  - ・家族への支援。地域移行をしても家族が受入られない現実もある。
  - ・グループホームでの支援の限界。病院でなんとかしてほしいと地域で思うこともある。

- ・ 住む場所の確保。
- ・ 保証人の問題。保証人協会を利用するにも保証人が必要。
- ・ 医療につながる際、警察とか保健所がメインであるが、本来ならば、それではいけないと思う。
- ・ 地域移行をすすめるには、病院への新しい風を吹かせるのが大事
- ・ 未受診者の問題。一度も病院に行ったことのない人は、診療報酬上訪問看護ができない。(医師がいけば点数になるが、医師はなかなか外にでれない状況がある。)
- ・ 未受診者については保健所が支援しているが、警察がからんだ医療の届かない人への対応が多いのではないか。
- ・ グループホームからの入院。グループホームの利用者の高齢化が問題。グループホームからの移行の問題。年齢を区切っているところもある。
- ・ グループホームには様々な課題がある。
- ・ 大きく区切ると住居の問題、その下にグループホームや保証人、高齢者の問題があるのではないか。